

□議員名：矢田 松夫

1 太陽光パネル建設について

論点	業者からの事業計画書の写し及び工事現場を見ているのか。
回答	船木地区から道路沿いに見えるところでは樹木が伐採され、山肌が露出している状況を確認している。山陽小野田市側からは、どのくらい工事が進んでいるのかは確認をしていない。

論点	市側に、地元石束自治会が絶対反対との声が届いているのか。
回答	厚狭駅前の水害の経験から水害に対する強い懸念があることは伺っている。もう一方で環境保全、この2点で反対されていることは承知をしている。

論点	絶対反対を地元が意思表示しているにもかかわらず、市はどのような対応を取ってきたのか。
回答	地元の同意というものが必須とは思わないが、同意というものは100%であるべきだと思う。やはり100%の同意をとるように、事業者に努力を続けてほしいと思っている。

論点	県が対応するので、市は関係がないという立場なのか。
回答	県知事が認可するので、開発に係る直接的な関与はできないが、市内における開発行為であり、まったく関係がないものであるということは考えていない。

論点	森林法の定めにある、災害、水害、水の確保、環境保全について、県知事からの問い合わせで「意見なし」の回答をすべきではなく、独自に調査をするべきではないか。
回答	独自に調査をするべきであったといえば、そうだったかもしれない。

論点	業者と地元への意見聴収の記録を知っているか。
回答	県からの送付資料に反対者がいるので、地元への説明会が何回開催されたかなど記載されている経緯については承知している。

論点	県内13市6町で山口市に続き本市が第2位のパネル設置件数になっていることを知っているか。
回答	県内の件数については初めて聞いた。かなり多い件数である。

論点	環境保全、調和のとれた地域開発、災害の防止、秩序ある土地開発行為を行うのであれば、増加傾向にある太陽光パネル建設に歯止めをかけるためにも規制、条例策定をすべきではないか。
回答	景観計画を作り、それを防止するエリア等を決めての対応が必要かと思う。

論点	県知事は、環境評価条例に太陽光パネルを入れると表明されたが、本市も安全な生活が送られるよう、条例を一刻も制定すべきだと思うが。
回答	国や県が条例の中に加える方針を打ち出したことを受け、基本的には市町村も当然包含するので、今後対応に努めてきたいと考えている。

2 市営駐車場を市民に開放

論点	月曜日から金曜日まで150台のうち27台しか停まっていないが、市民にまずいとか申し訳ないとか思わないのか。
回答	100台余りの空きスペースがあることについて、確かに申し訳ないとは思っている。